

# 公害スタディーズ

## 悶え、哀しみ、闘い、語りつぐ

安藤聡彦・林美帆・丹野春香 編 ころから 1,800円+税



『公害スタディーズ』は公害資料館ネットワークの会員の方をはじめ、ご関心を寄せられている多くの方にご協力をいただき 2021 年に出版されました。私たちは、今も公害は「過去のこと」や「克服されたもの」という認識が根強く残る状況の中で、公害にほとんど触れる機会を得てこなかった人たちが〈公害と出会い、向き合う〉ための「入り口」になることを企図して本を編みました。

本書は 2 部構成になっており、第 1 部「出会う」では 13 の公害をテーマにその概要が示され、また被害者をはじめさまざまな立場の方から公害の経験が語られています。第 2 部「向き合う」では、公害と向き合うための学びと社会のあり方に関し、さまざまな問いが発せられています。またカラー刷りをはじめ、コラムや用語解説、写真・図説を多用し、手に取りやすく、理解しやすい工夫を施しています。

巻頭と巻末に公害資料館の情報が掲載されているのも魅力の一つです。さらに今回、電子書籍版としてもご購入いただくことができるようになりました。電子版だからこそ、持ち運びや検索のしやすさなど利便性が高まっていることもアピールしたいポイントです。

編者の一人として私は、本書を用いた公害の学び合いが生まれていくことを願っています。そのためにも、公害の学びをつくる・支える役割を担う方に本書を活用していただき、その方法や課題について議論が深まっていくことが重要だと思っています。さらに、公害の学びをつくる・支える役割を担う方も学習者と共に学ぶことを通し、公害を学ぶ輪は大きく、太くなっていくのだと思っています。

ぜひ『公害スタディーズ』を手に、公害の学びの世界へ。

公害スタディーズ編著者、埼玉大学、明治大学、立教大学、  
国立療養所多摩全生園附属看護学校 非常勤講師・兼任講師 **丹野 春香**

## 「公害資料館ネットワーク共通パネル」の貸し出しをおこなっています

2018 年度に作成した「公害資料館ネットワーク共通パネル」ですが、各地の公害資料館をはじめ、人権に関する展示などでも活用いただいています。扱いやすい B2 版 (515mm×728mm) 7 枚のパネルで、写真やイラスト豊富なフルカラー印刷。公害が起きた時の地域の様子が立場別でわかります。

SDGs (持続可能な開発目標) を考えるきっかけにもなりますので、ぜひご活用ください。

- パネル貸出は、リンク先の注意事項を確認の上、申込フォーム、メール・FAX でお申し込みください。

<https://kougai.info/action/panel>

なお、【公害資料館ネットワーク 団体会員】の場合、送料のみで貸出可能です。



2022年度は「和泉市立人権文化センター」(大阪府)と「豊中市立人権平和センター豊中」(大阪府)で展示していただきました。



和泉市立人権文化センターでの展示の様子